

上野高等学校の学科改編について

1 改編の趣旨

- ・「普通科」において「理数科」とは異なる特色・魅力をうち出せるよう、また、生徒が学ぶ意欲や学問分野への興味・関心等を高め、主体的に学習に取り組めるよう、国の普通科改革に伴う学校教育法施行規則等の一部改正を受け、令和4年度から国の「新時代に対応した高等学校改革推進事業（普通科改革支援事業）」に取り組んでいます。
- ・当事業では、大学卒業後とその先を見据え自ら課題を発見・解決できる人材を育成するため、関係機関と連携協力・調整を行うコーディネーターや外部機関等と連携し、データサイエンスや STEAM の要素を取り入れた学校設定科目を開発し、探究学習の充実に取り組んでいます。
- ・これらの特色が、中学生等に分かりやすく伝わるよう、当事業の取組内容を発信するとともに、学科の名称をこれまでの「普通科」から「学際探究科」に改編します。
- ・文系と理系が融合した学際融合的なカリキュラムとし、生徒が多様な分野の学びに接することができるようにするため、学年制から単位制へ変更します。

2 改編年度および概要

【現在】 2 学科（普通科、理数科）

学科		内容
普通科	普通科 5 学級	・共通教科を幅広く学習 ・地域をテーマとした探究学習
	理数科 1 学級	・専門教科「理数」の科目を中心とした学習 ・大学等と連携した研究



【改編後】 2 学科（学際探究科、理数科）

学科		内容
普通科	学際探究科 4 学級	・文系と理系が融合した「学際融合型カリキュラム」による学習 ・データサイエンスや STEAM の要素を取り入れた学校設定科目「UQ」の新設
	理数科 2 学級	変更なし

3 学際探究科の目標

「伊賀を想い、世界を見据え、社会の課題に挑戦し続ける人材」の育成を目的とし、生徒が「変化の激しい時代を生き抜く力」と、「進路を実現できる力」を身につけられる教育課程の編成により、学習活動を展開します。

4 学際探究科の特色ある学習活動

(1) 大学および卒業後を見据えた学修の基盤となる学力の習得

- ・「学際融合型カリキュラム」により、2年次まで全員が国語・数学・英語を共通で学習し、3年次から進路に応じた科目を選択し学習します。

(2) コンソーシアム（大学や企業、近隣小中学校等）の構築

- ・大学や企業による講師派遣や体験活動の受入等の協力、探究学習への大学生メンター派遣、グローバル企業等での見学や実習、行政のオープンデータを活用した課題解決型学習、STEAM 学習における講師派遣等を実施します。
- ・学際探究科の生徒による小・中学校への出前授業等を実施します。

(3) 「UQ (Ueno Quest)」「みらい探究」(科目名)を柱とした探究プログラムの充実

- ・1年次、探究の基礎的スキルの学習やデータサイエンス等を活用したミニ探究学習を行います。
- ・2年次、STEAM 学習に取り組み、課題解決の手法について学ぶとともに、各自が設定したテーマで探究を行います。
- ・3年次、課題研究の総仕上げとしてのレポート等を作成します。
- ・長期休業中等、大学や企業等と連携した集中的な課外授業やセミナーを行います。

(4) 国内外のフィールドワーク

- ・「世界を知って、日本・伊賀の良さを知る」ため、修学旅行の行先を海外とし、SSH 海外研修や民間企業のプログラムを活用しオンライン海外交流も行います。
- ・1年次に宿泊を伴う探究合宿を行います。合宿での探究テーマ等も個人で計画するなど、企画から立案、調査等のスモール探究学習を行います。
- ・国内外の高校生等と探究交流を行い、SDGs 等を共通テーマとして、グローバルな視野で物事を考える学習を行います。
- ・地元企業や卒業生が働いている企業等を訪問し、働くことや、学ぶことについて考え、多くの大人から刺激を得る学習機会を増やします。

【参考】上野高等学校の概要

- ・創立 120 年を超える伝統校として地域から大きな期待が寄せられている学校です。
- ・平成 21 年に「理数科」を新設し、令和元年度から SSH（スーパーサイエンスハイスクール）の指定を受け、先進的な理数教育や地域と連携した探究活動に取り組んでいます。